

令和六年十一月号

《第一四三号》

しあへび

宗教法人岩国白蛇神社

〒740-0017

今津町六丁目4-2

☎ 30-3333

霜月の祭典・行事案内

しもつき

【月次祭】 九時半

一日(金) 己巳の日

二十五日(月)

【明治祭】 九時半

三日(日)

【新嘗祭】 九時半

二十三日(土)

11月

※ 参列者には一合程度の新米を授与します

毎年十一月二十三日には、天皇陛下がその年の新穀を神々に御親供なされる新嘗祭(いなめさい)が宮中神嘉殿において斎行されます。新嘗祭の起源は、「日本書紀」の天照大神が皇御孫命(すめみまのみこと)の降臨に際して斎庭の稲穂(ゆにわのいなほ)をお授けになったことに遡ります。

【昭和天皇御製】(第一二四代)

冬枯れのさびしき庭の松ひと木
色かへぬをぞかがみとはせむ

(昭和二十二年)

【十一・三を「明治の日」に】

平成十九年から四月二十九日は「昭和の日」となりました。「激動の日々を経て、復興を遂げた昭和の時代を顧み、国の将来に思いをいたす」日となりました。

昭和二年、明治天皇の御誕生日である十一月三日を明治日本の偉業を仰ぐ日として国民の請願により「明治節」といふ祝日となりました。

敗戦後にGHQにより「文化の日」となりましたが、明治の時代を追憶し、わが国の近代化における苦難と栄光に思ひをいたすと共に、真の日本の姿を考える「明治の日」としたいものです。

【マウス供養祭】 十月十二日

今年も子供飼育員十二名を中心とした参列者によつて、岩国白蛇の命を支へてゐる二十日鼠(マウス)の供養祭が厳かに斎行されました。



子供飼育員にとつては、実際に生きたマウスを白蛇に給餌した体験は、当初はショックキングであつたことでせう。でも、命の尊さを肌身に実感したことは今後の人生において必ずや生きてくることと思ひます。

【推薦図書】

市販版

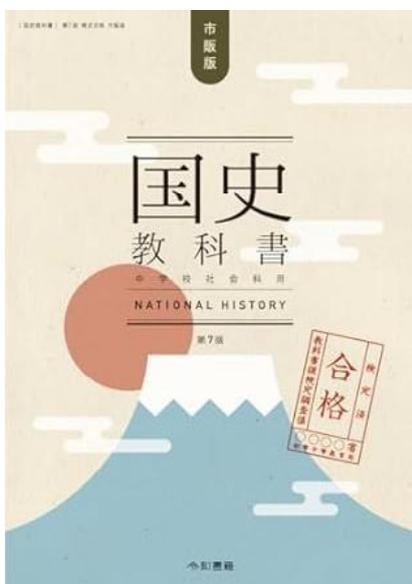
『国史教科書』

中学校社会科用

令和書房

竹田恒泰 著 二千元

「文部科学省の教科書検定に最初に中学校の歴史教科書を申請してから、四回連続で不合格となり、その五年の間に、初版から第五版までの『中学歴史 文部科学省検定不合格教科書』を毎年発売してきた。しかし、令和五年度の教科書検定で第六版と第七版が、修正を加えたうえで合格となり、苦節六年の歳月を経て、ようやく中学校の歴史教科書として使用されることになった。そこで、学校での使用開始に先駆け、合格版(「国史教科書 第七版」)を一般書籍として発行する次第である。(省)



令和三年度の教科書検定で合格の感触をつかんだ私たちは、他社の中学歴史教科書と比較して、最もレベルが高い教科書を目指すことにした。そのため、偏差値の高い高校の入試問題を過去十年にわたって分析し、これらの問題を解くために必要な教科

書はどのような内容であるべきかを検討し、修正を施した。それが今回合格した申請図書である。

中学の歴史学習や高校受験のみならず、教員が授業の参考とし、または、社会人が国史を学び直すのに役立てていただければ幸いです。

（刊行に寄せて）から

『古事記』中巻 (六十二)

神武天皇(神倭伊波礼毘古命)

伊須気余理比売

さて、神倭伊波礼毘古命が日向に居られたときに、阿多の小櫛君の妹の阿比良比売を娶つて生まれた子に多芸志美美命と岐須美美命が居られました。おさくらお后とする少女を探し求められたとき、大久米命が申すには「ここによい女がをります。この女を神の御子と伝はせぬま。神の御子といふわけは、三島の渥。昨の娘に、勢夜陀多良比売といふ名の容姿の美しい少女が居りました。それで、三輪の大物主神が、この少女を見て気に入り、その少女が大便秘する時、丹塗りの矢に化けて、その大便をする所の溝を流れ下つて、その少女の陰部を突きました。少女は驚き走り回つて慌てふためきました。そして、その矢を持つてきて、床の側に置くと、矢はたちまち立派な男性に変はつて、やがてその少女と結婚して、生んだ子の名を、富登多多良伊須須岐比売命と言ひ、またの名を比売多多良伊須気余理比売と言ひます。と言ふわけで神の御子と言ふのですと、申しあげました。

さて、七人の少女が高佐土野に出て野遊びをしてみました。伊須気余理比売もその中に

加はつてみました。すると大久米命は、その伊須気余理比売の姿を見て、歌で天皇に申しあげるには、

大和の高佐土野を七行く媛女ども

誰をしまかむ

このとき伊須気余理比売は、その少女たちの先頭に立つてみました。そこで天皇は、その少女たちを見て、お心の中で伊須気余理比売が一番前に立つてゐるのを知られて、歌をもつてお答へになるには、

かつがつもいや先立てる兄をしまかむ

そこで、大久米命が、天皇のお言葉をその伊須気余理比売に告げ明かしたとき、姫はその大久米命の入れ墨をした鋭い目を見て、不思議に思はれ歌つて言ふには、

あめつつちどりましとなど黥ける利目

媛女に直に逢はむと我が黥ける利目

かうしてその少女は、天皇にお仕へしませう。と申しあげました。

ところで、その伊須気余理比売の家は狭井河のほとりにありました。天皇はその伊須気余理比売の元にお出かけになり、一夜お休みになりました。その後、その伊須気余理比売が宿中に参内したとき、天皇が歌はれたのが、

葦原のしけしき小屋に菅豊

いやさや敷きて我が二人寝し

さうしてお生まれになつた御子の名は、日子八井命、次に神八井耳命、次に神沼河耳命の三柱であります。(続く)



神宮大麻(お伊勢さまの御札)の授与を十一月から始めます。

(一体千円)

なほ、昨年までの古い御札・お守りも預かります。



お伊勢さまの令和七年カレンダーを頒布してゐます。神宮境内の神々しく美しい風景が写真に収められてゐます。

(一部九〇〇円です)



《お知らせ》

十一月二日の夕刻、宝冠白蛇弁財天社の社の新築に伴ひ、御祭神の仮殿への遷座祭が斎行されます。二日後の十一月四日夕刻には新殿への遷座祭が行はれます。真新しい弁財天社にもお参りくださいませ。